

# 「子供引き離し」問題は、米政治史上最大のスキャンダル から目をそらす工作

スパイゲイトが核爆発を起こす

【訳者注】今朝（6/21）のNHKニュースで、人道的見地から、不法入国者の親子を、今後は引き離さないように計らうというアメリカの方針を、トランプ大統領が発表していた。その裏話がこれである。国家の方針とも言えるような、子供に対するあらゆる残虐をやっておいて、何が人道的見地だと思った人は、これを読んで納得がいくだろう。トランプは上手に両刀を使い分けている。

State of the Nation

June 20, 2018



間違わないように願いたい。「子供の引き離し」問題として、連日、CIA の支配する“モックキングバード・メディア”によって組織的に引き起こされている、ニセの騒ぎは、意図的な企みである。

**スパイゲイト**が、ハワイのキラウエア火山のように、断続的に吹き上がっている。そして深層国家は、それが自由落下の崩壊を起こす前に、世間の話題を変えなければならないことを知っている。

FBI、また DOJ (司法省)、また CIA、それに残りの米情報機関共同体は、どうしても引込むことを拒否する噴火(つまり**メガ・スキャンダル**)を、抑え込もうと必死になっている。トランプは、そうはさせまいとしている。

ペテンの「子供引き離し」問題が、容赦のない監察総監室 (OIG) の発表とともに、吹き上がった (実は例の容疑者どもによって吹き上げられた) のは、決して偶然の一致ではない。

最終的な監察総監報告が、実は、深層国家のスパイ、マイケル・ホロヴィッツによる、完全かつ全体的な、うわべ粉飾であったという事実は、このむさ苦しい政治物語が、権力エリートにとって、いかに危険なものであるかを示すものだ。体制側は、このスパイゲイトが、安全保障国家の下腹全体を、暴き出す潜在可能性をもっていることを知っている。これが逆に、アメリカ国民に対しては、情報局共同体を形成する 17 部局が、米市民社会を保護するのではなく、エリートを保護するために、存在するにすぎないことを明らかにするであろう。

<http://stateofthenation2012.com/?p=100101>

完全に虚偽の“引き離し”問題と結びついた、自由という見え見えの偽善は、その性質上、それ自体において、深層国家がいかに必死になって、国家的話題をスパイゲイトから転換しようとしているかを、反映するものである。

**自由という偽善：カリフォルニアで、米人の子どもが母親から、将来の当てもなく引き裂かれた** <http://stateofthenation2012.com/?p=100179>

## スパイゲイト

あの監察総監報告の最も燃焼しやすい内容のまわりには、あまりにも多くの煙が漂っているので、大火災がやってくるのを止めることはできない。**巨大な噴火**が起こるのは、もはや時間の問題である。

来るべき政治的大噴火に比べれば、かつての詐欺的ウォーターゲイトも、軽いウォーミングアップで、スキャンダルとさえ言えないだろう。ウォーターゲイトは、ニクソン自身の知らなかった、明らかにねつ造されたスキャンダルだったのに対して、**スパイゲイト**は、この上なく複雑怪奇な問題である。

スパイゲイトより大きくなる事件はありえない。この政治的大火が本当に勢いを得たなら、ワシントン DC 内部のすべてを焼き払うであろう。

米連邦政府の最高エリート（オバマ政権と考えよ）によって、一人の米大統領候補、後に現職大統領になった人に対して犯された、スパイゲイト陰謀犯罪の、真の深さと幅は、これ以上ありえない所にまで達している。

### **トランプは確実に彼らを捕まえている**

ZoroHedge.com の、ある最近の記事のスクリーンショット——タイトル：「**すべてが悪質詐欺だ：トランプが激しいスピーチで、深層国家の敵に思いをぶちまける**」——は、トランプ大統領が、彼らの数を掴んでいることを明らかにしている。

President Trump went way off script during a Tuesday speech at the National Federation of Independent Business (NFIB) – lashing out against everything from the “deep state” to the intense immigration debate, which he calls a distraction from Congressional hearings on the recently released Inspector General’s (OIG) report on FBI bias during the 2016 US election.



Trump then says that the MSM is trying to distract with the immigration issue.

“You ought to see the hearings that are on right now on television,” Trump said, in reference to Inspector General Horowitz’s testimony before Congress (which can be viewed [here](#)).

“They want to focus on immigration because they want to keep the cameras away from the hearings,” Trump added.

トランプ大統領は、火曜日の、独立事業全国連盟（NFIB）でのスピーチで、台本をはずれて、「深層国家」のすべてから、熱心な移民の議論にまで及んで激しく追及し、後者の議論を彼は、2016年米選挙におけるFBIの歪曲に対する、監察総監の最近の議会ヒアリングから、注意をそらすものだとこき下ろした。

Josh Caplan

トランプ大統領の、監察総監報告についての見解：「私は deep state であったことは一度もない。言わせてもらいたいが一我々は、悪いことをやっている、悪い者たちを何人かもっている。この監察総監の報告をあなた方が読んでみて、彼女 [ヒラリー] のやったことが、

彼女が逃げおおせるようなことだとでも思ったら、恥ずかしいことだ。」

トランプは次に、主流メディアは、これを移民問題でごまかそうとしていると言った。

「あなた方は、たった今テレビに映っているヒアリングを見るべきだ」トランプは、(たった今ここで見ることのできる) 議会に対する監察総監ホロヴィッツの証言をさして言った。

「彼らは移民問題に焦点を当てようとしているが、それは、ヒアリングからカメラをそらしたいからだ」と、トランプは言った。

## 結論

このものが本当に噴出するなら、それは、イエローストーンの超大火山が、天辺を吹き飛ばすようなものである。アメリカ政府の、あるいは政治の何一つとして、変化を受けないものはないだろう。

アメリカ大統領と、アメリカ共和国に対して、大逆、スパイ罪、扇動などを画策する、赤裸々な癒着がいま明らかになった——しかも固い証拠をもって。

オバマ政権は向こう見ずにも、米情報局共同体、様々な英情報局、その他、外国の部局とともに、2016年米大統領選挙を破壊しようと、陰謀を働いたのだった。次に彼らは、彼らの類例を見ない犯罪騒ぎを隠ぺいしようと、ニセの「ロシア癒着」物語をでっちあげた。

「2016 大統領選を工作しようとしたのはロシアでなく、イギリスだった」

<http://stateofthenation2012.com/?p=87585>

ワオ！ ただただ、ワオ！

——以上